会　議　録

1　会議名

第６回浦川原区地域協議会

2　議題（公開・非公開の別）

○　協議事項

⑴　町内会に関するアンケートの調査結果について

⑵　浦川原区地域協議会委員研修について

○　その他

⑴　令和８年４月に使用料等を見直しする施設について

○　次回の開催日について

3　開催日時

令和７年９月２５日（木）午後６時３０分から７時２５分まで

4　開催場所

浦川原コミュニティプラザ　４階　市民活動室４・５

5　傍聴人の数

０人

6　非公開の理由

―

7　出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委　員：市村(一)委員、市村(千)委員（副会長）、小野委員（副会長）、北澤(誠)委員、北澤(正)委員（会長）、五井野委員（オンライン出席）杉田委員、竹内委員、西山委員、松野委員、水澤委員

・事務局：浦川原区総合事務所　坂井所長、山崎次長、廣田産業グループ長、唐澤市民生活・福祉グループ長、西山教育・文化グループ長、村松地域振興班長、原田主任

８　発言の内容

【山崎次長】

・会議の開会を宣言

・出席者は１１人で五井野委員がオンラインで出席。欠席委員は金子委員

・上越市地域自治区の設置に関する条例第８条第２項の規定により、委員の半数以上が出席しているので、会議が成立する旨を報告

【北澤会長】

上越市審議会等の会議の公開に関する条例施行規則第５条第２項により、会議録の内容について、地域協議会が指定した委員の確認をいただく事になっている。

本日の会議録の確認について、市村副会長にお願いする。

それでは、「２　協議事項」に入る。初めに⑴町内会に関するアンケートの調査結果について事務局より説明をお願いする。

【山崎次長】

資料Ｎｏ．１に沿って説明

【北澤会長】

町内会については、前回の地域協議会で、アンケートの調査結果を基に、自主的審議事項として取り上げるか協議するということで決定した。しかし私の考えとしてはアンケートの調査結果から、自主的審議事項につなげられる材料が見えてこないと考えている。よって、今回の町内会に関する結果については、調査結果を次回の町内会長連絡協議会でお礼と合わせ、配布することで一旦終了してはいかがと考えている。

委員の皆さんの意見を伺いたい。

【市村(一)委員】

今回のアンケートの調査結果に関して、どこの町内会からいただいた意見か教えていただくことは可能か。

【北澤会長】

アンケートをいただく際に、名前を出すということを町内会長には伝えていない。取扱いについて、事務局の考えを聞かせていただきたい。

【山崎次長】

地域協議会の意見としてアンケート調査を実施しているため、地域協議会の中であれば、どこの町内会の意見か答えることができる。

【市村(一)委員】

町内会長も務めているので、この中の意見から参考になるものであれば、直接話を聞きに行きたいと思っていた。そういったことは可能か。

【山崎次長】

事務局からその旨を町内会長に伝え、町内会長から承諾を得てから対応していただきたい。

【市村(一)委員】

承知した。

【北澤会長】

竹内委員から意見はあるか。

【竹内委員】

今回の調査結果に関して、町内会行事の中で女性が参加している行事はどのくらいあるか気になった。各町内会で女性だけの集まりはあるのか、また、女性が町内会に関してどういった意見を持っているのか気になる。

【北澤会長】

私の町内会では、年に１回か２回、女性だけで集まり、今後の活動について話をしている。一つの参考にしていただきたい。

他に意見はあるか。

【杉田委員】

会長が示された進め方でよいと考える。アンケートの内容についてだが、「あなたの町内会の問題や課題は何か」というような設問があれば、より多様な意見が集まったと思う。今回のアンケートにはそのような設問が含まれていなかったため、自主的審議事項として取り上げるべき具体的な内容が見受けられなかった。

町内会の生活組織についてだが、子供会や青年会が意外と多く存在していると感じた。一方、老人会の状況については概ね予想通りであったが、壮年会という組織については初めて知った。

【北澤会長】

町内会が抱える問題や課題は、少子高齢化や人手不足が殆どであると考えていた。その問題を抱える中でどのように工夫しながら町内会を運営しているかを聞き取るという趣旨の基、アンケートの内容を決定した。こういったアンケート調査は、今まで町内会長連絡協議会でも実施していなかったと思われるので、調査結果について、次回の町内会長連絡協議会で配布させていただこうと思っているがいかがか。

（会場から「はい」の声）

次に、⑵浦川原区地域協議会委員研修について、私から説明をする。資料Ｎｏ．２を見ていただきたい。前回の地域協議会で、研修に関する意見がある場合は、事務局へ提出いただくことを委員の皆さんに依頼をしていた。この資料には、前回の地域協議会で出た意見と、事務局に提出された意見をまとめた内容が記載されている。

研修を実施するにあたり、その目的や、研修からどのように自主的審議事項につなげられるか皆さんに考えていただきたい。まずは、意見を提出した委員の皆さんから具体的な内容について説明していただきたい。「上越市長のビジョン」については、前回の地域協議会で意見をいただいたので「地域づくり」について、水澤委員から説明いただきたい。

【水澤委員】

私の町内会もそうだが、浦川原区全体でも高齢化が進んできている。この地域で生きていくためにも、地域を持続させていくことが一番だと思い、「地域づくり」をテーマとして挙げた。

【北澤会長】

「さつまいも農カフェ」について、市村(一)委員より説明をお願いする。

【市村(一)委員】

「さつまいも農カフェ」を立ち上げた新谷氏は、他地域から新潟に移住し、新潟日報に連載を持つほど実績のある人である。地元でないにも関わらず、頑張る理由についてお話を伺えば、我々もその姿勢に触発され、地域活性化に向けた取組の力になると考える。

【北澤会長】

次に、西山委員から説明をお願いする。

【西山委員】

「先進事例研修」については、先日の上越市創造行政研究所の広報誌において、広島県三次市のまちづくりビジョンについての研修が紹介されていた。今後、まちづくりビジョンの重要性が増してくると考え、我々もそうした研修を受けることに意義を感じた。

「居住地集約の是非」については以前も話をしたことがあるが、浦川原区において、市営住宅を冬季限定で中山間地域の住民に貸し出すことができないかと考えている。

また、山奥に集落が点在してあるよりも、ある程度近接した場所に住民が集まった方が、地域の人数も増え、地域社会の形成がしやすくなると思っている。その際の問題点と書いてあるが、おそらく、先祖代々受け継いできた土地を手放すことへの抵抗である。この問題に対してどのような取組が可能か、テーマとして挙げた。

「人口減少問題」については、昨年、上越市創造行政研究所の研修を受講した際、人口の減少を一定の水準で食い止めることができれば、今後も集落の維持が可能であるという内容の話

を聞いた。具体的な方法を浦川原区の事例で研修を実施したいと考える。

【北澤会長】

「コウノトリから学ぶ」、「農業の未来のために」について杉田委員より説明をお願いする。

【杉田委員】

「コウノトリから学ぶ」についてだが、コウノトリが吉川区と三和区に飛来していることは皆さんが知っている事実であるが、隣接している浦川原区には飛来していない。上越市議会議員の橋爪氏は吉川区にコウノトリが飛来して以来、その背景について研究者のように観察している。私が聞いた話では、コウノトリが飛来する可能性を高めるには自然環境が重要であり、コウノトリが住めるような自然環境の整備、そしてそれに基づく農業のあり方、さらには観光との連携など、コウノトリに着目した話を聞いてみたいと考えている。

「農業の未来のために」については、講師を予定している安田氏は映画監督でありながら、農家である人物である。先日、浦川原区で安田氏の映画の上映会が行われたが、米農家の厳しい現実と喜びを題材とした映画だったと聞いている。日本全体としても、農業に関する明確なビジョンが欠けている現状を踏まえ、安田氏の話を聞くことで、これからの農業の未来について深く考察していきたいと思う。

【北澤会長】

今後、浦川原区の人口が増えることは、極めて困難な状況であるが、現在の状態や生活をどのように維持していくかを考えることが重要である。ここで一つの提案だが、今回皆さんからいただいたテーマを、上越市創造行政研究所に投げかけ、そのテーマを基に研修をしていただくことはどうか。上越市創造行政研究所は浦川原区を取り巻く現状や課題について、近隣区も含め多様なデータを保有していると聞いている。また、浦川原区地域協議会の中でも、市村(一)委員と松野委員も参加している「こちらは広報うらがわらです」という団体や、大島区や牧区で導入している定住支援コーディネーターの制度も、上越市創造行政研究所が主導していると聞いている。事務局から補足で説明できることがあればお願いできるか。

【山崎次長】

定住支援コーディネーターに関しては、会長が話されたとおり、令和７年度から大島区と牧区で導入している。「こちらは広報うらがわらです」に関しては、令和５年度に浦川原区、大島区、牧区で持続可能なまちづくりに関するワークショップを３区がモデル地区としてスタートした。その時のメンバーがベースとなり、今の「こちらは広報うらがわらです」の団体を立ち上げた。そのメンバーの中に、市村(一)委員と松野委員も入っている。

上越市創造行政研究所に関しては、今回皆さんから提案されたテーマに沿って詳しく説明で

きる資料は持っていると思われるので、検討していただきたい。

【水澤委員】

浦川原区の現状をみると、大変厳しい状況である。特に中保倉地区においては、民生委員を選出できないという問題を抱えている。これは、非常に大きな課題であり、地域の存続にも関わってくる。こうした厳しい現実の中で、問題を解決に導くのが、本来の地域協議会の役目と考えていることから、「地域づくり」をテーマとした。その背景には、厳しい現実を皆さんにも認識していただきたいという思いもある。

【北澤会長】

今ほど水澤委員から意見をいただいた。９月上旬のデータによると、浦川原区で令和７年度に生まれた子供の人数は２人とのことである。単純に考え、６年後の浦川原小学校の１年生は２人しか入学しないということである。こうした現状に関するデータを把握し、それを基に研修を実施できるのは上越市創造行政研究所であると認識している。水澤委員の意見も、上越市創造行政研究所と共有し、データに基づいた研修をしていただきたいと考えるが、皆さんいかがか。

【松野委員】

私は会長の意見に賛成である。皆さんが挙げたテーマを見たときに、上越市創造行政研究所の研修であればいくつにもつながり、地域づくりに関するアイデアも聞けると思う。

【西山委員】

行政による人口減少問題の対応についても、可能であればお話を聞きたいと思っている。

【北澤会長】

承知した。

研修の具体的な内容については、正副会長と事務局で精査し、上越市創造行政研究所に依頼するような形でよいか。

（会場から「はい」の声）

次に「３　その他」に入る。⑴令和８年４月に使用料を見直しする施設について、事務局より説明をお願いする。

【廣田グループ長】

今後の使用料等を見直しする施設についてだが、近年のエネルギー価格高騰等の影響を大きく受けている施設や、主に市外や県外の利用者を想定している施設などについて、令和８年４月の使用料等の変更を予定している。浦川原区の施設では、宿泊体験交流施設月影の郷が対象となっており、次回１０月の地域協議会において、使用料の見直しについての市の基本方針と、

宿泊体験交流施設月影の郷の使用料の変更について、主管課の資産活用課と農村振興課が説明をする予定であるのでよろしくお願いしたい。

【北澤会長】

今ほどの説明について、意見や質問等はあるか。

（意見なし）

次に、次第にはないが、委員報告についてである。委員の皆さんから報告はあるか。

【松野委員】

先ほど話もあったが、私と市村(一)委員は、「こちらは広報うらがわらです」という団体に所属している。この団体は、令和５年度に実施した持続可能なまちづくりワークショップの開催後、そのメンバーが再度集まり、「地域を活気づけたい」という思いから立ち上げたものである。この団体では初めてのイベントとして、１１月９日(日)に「昭和ふぇす」というイベントを実施する予定である。イベント実施にあたり、協賛金を１口２，０００円からお願いしているので、ぜひ協力いただきたい。浦川原区のヤングメンバーとベテランメンバーが集まり、地域活性化に向けて努力している。今後ともよろしくお願いしたい。

【市村(一)委員】

９月１５日(月)の新潟日報２４面に掲載されていた記事だが、一人暮らしの高齢者や介護が必要な人たちが共同で居住できるシェアハウスを、国が３年間で１００か所整備することを目指すという内容であった。この浦川原区でも、旧中保倉小学校を建設した際に当時の浦川原村長が、「廃校になったら介護施設にする」という話をしていたことがある。浦川原区として、このような取組に対して研究や資料収集を行う意欲があるのか、また、それに対する行政の考えを聞かせていただきたい。

【唐澤グループ長】

今回の記事に関しては、高齢者支援課でも内容を把握していた。このような構想がある中、地方創生の交付金の補助もあるようだが、具体的な条件等について、市にはまだおりてきていない。この内容については、今後の進展を注視し、具体的な内容が分かったら、皆さんに情報提供を行いたいと思っている。

【市村(一)委員】

今すぐの話ではないと思っている。言われたように情報があったら教えていただきたい。

【北澤会長】

その他、事務局から何かあるか。

【山崎次長】

上越市男女共同参画推進センターのチラシを４枚配置したので、後ほど確認いただきたい。

「大・浦・安」地域協議会委員研修会に関する資料を配布した。内容を確認の上、出欠及びマイクロバスの利用について、１０月２４日(金)までに事務局へ連絡をいただきたい。

【北澤会長】

次に「４　次回の開催日について」である。第７回地域協議会以降の日程についてだが、第７回地域協議会は１０月３０日(木)、第８回地域協議会は１１月２６日(水)、第９回地域協議会を１２月１７日(水)と決定しているので、よろしくお願いする。

以上で、令和７年度第６回浦川原区地域協議会を閉会する。

問い合わせ先

浦川原区総合事務所　総務・地域振興グループ

TEL：025-599-2301（内線 305）

E-mail：uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp

１０　その他

別途の会議資料もあわせてご覧ください。